

2025年度運用実績

(1)総括

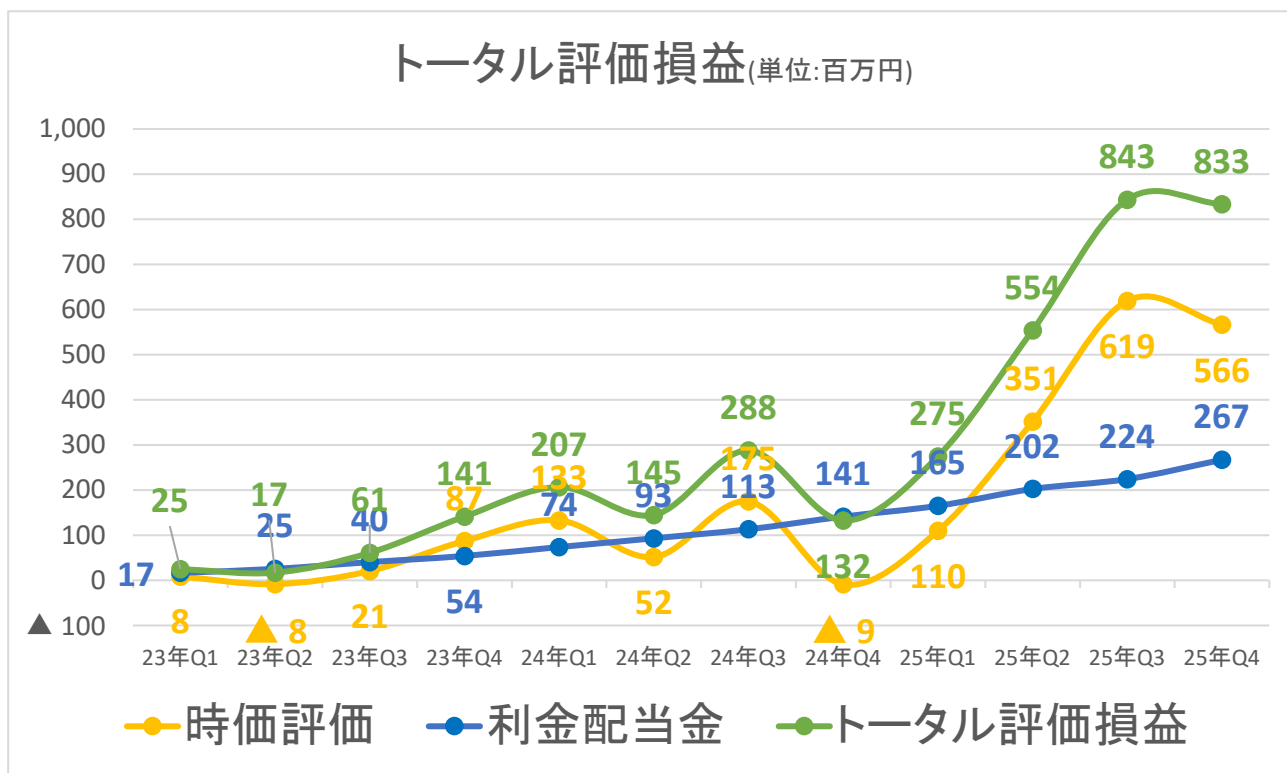
- 2025年度は好調なAI・半導体関連を中心とした株式の上昇や円安基調により、全体としては良好な投資環境で推移しました。今後もトランプ政権による米国関税や不透明な政策、地政学リスク等の短期的な不安材料により、下振れの可能性もあることを認識しております。
- 現在はポートフォリオ組替えの最中であり、短期的な値動きはモニタリングしながらも、目的達成のため、長期的な目線でぶれずに運用を実施していきます。

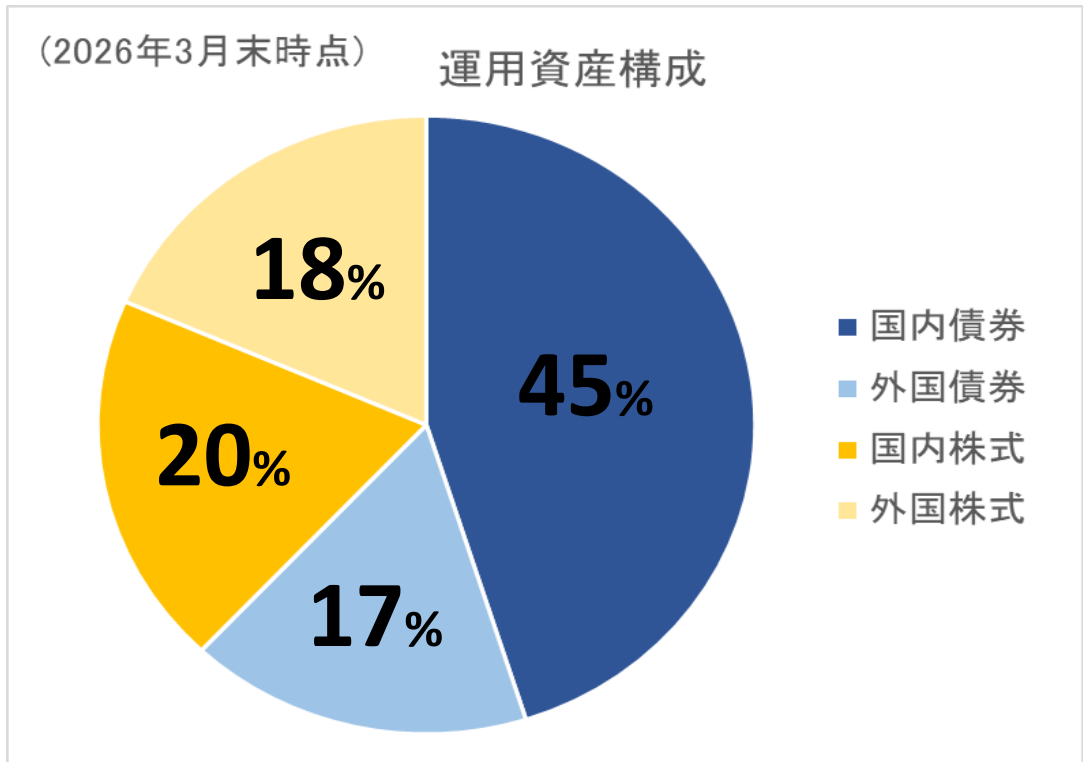
(2)運用実績

	2025年度	運用開始以降 (2023~2025年度) ※
トータル評価損益率	9.24%【年率】	5.03%【年率】 ※
トータル評価損益 (うち、時価評価損益) (うち、利金・配当金)	700,990 千円 (575,182 千円) (125,808 千円)	833,301 千円 (566,254 千円) (267,047 千円)
運用資産額	76.1 億円(2026.3.31 現在)	

※年率は時間加重平均率による算定の参考値

※新たな運用体制後(2023~)のトータル評価損益を算出している





(3)運用の課題

運用開始以来のトータル評価損益は約 8.3 億円(年率 5.03%)、2025 年度のトータル評価損益は約 7.0 億円(9.24%)。一方、2025 年コア CPI(消費者物価指数)は前年比 3.0%上昇、2025 年建設工事費デフレーター(指標)は前年比 3.12%上昇。運用結果は、これら指標の上昇率を上回り、運用目的である「インフレリスクのヘッジ」は達成。課題としては、ポートフォリオのリバランスの基準の検討が必要です。

現在はポートフォリオ組替えの最中です。2031 年度に 4 資産均等となるポートフォリオを目指しています。今後も一喜一憂せず、長期的な目線で資産運用を行って参ります。

